

被災地区の さらなる復興に向けて ～復興応援「絆」が開催されました～

甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風災害から、5年が経過しました。

被災から5年という節目の年を迎え、台風災害の記憶を風化させることなく、被災地区の活性化と市民の防災・減災意識のさらなる向上を図るとともに、ボランティアなど、これまでにご支援いただいた方々との絆をつなぐことを目的とした市民参加イベント復興応援「絆」が、10月6日に開催されました。

当日は、被災地区の取り組みの展示、復興物産展、防災を学べる体験等のほか、被災から復活した地域の伝統芸能や子どもたちによる演奏を披露する復興応援ステージも行われ、大いににぎわいました。

頻発する自然災害から市民の命を守るため、議会としても防災・減災対策に、引き続き取り組んでまいります。

FEEL NAGANO, BE NATURAL

この街で、わたしらしく生きる。長野市

ながの だより 市議会 NO.128

令和6年
9月定例会
NO.128

■主な内容

- ◆審議された議案等……………2～3
- ◆市政に関する質問の要旨…4～9
- ◆常任・特別委員会のうごき…10～11
- ◆新しい議会構成……………裏表紙



信州ブレイブウォリアーズ
12月のホームゲーム
(ホワイトリング)

神戸ストークス戦 12/1(日)14時5分
愛媛オレンジバイキングス戦 12/7(土)14時5分、12/8(日)14時5分
富山グラウジーズ戦 12/21(土)14時5分、12/22(日)14時5分

市議会定例会

会期
9月5日
10月2日

一般会計3億1,950万2千円を補正

一般会計予算額は1,706億8,369万2千円に

9月市議会定例会が9月5日から10月2日までの二十八日間の会期で開かれ、令和6年度一般会計補正予算などの議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました（3頁参照）。補正予算など主な議案の概要について紹介します。また、最終日に副議長選挙が行われ、各委員会の委員も交代するなど、議会の構成が新しくなりました（裏表紙に掲載）。

補正予算の内容

9月定例会で決定した一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれに三億一千九百五十万二千円を追加し、一般会計予算総額は一千七百六億八千三百六十九万二千円となりました。主な内容は次のとおりです。

福祉医療システム改修等事業

福祉医療制度において、令和7年4月診療分から開始予定の18歳年度末までの子どもの通院費及び入院費の窓口無料化に係る福祉医療システムの改修等に要する経費が増額されました。（一、六六九万円）

松代真田家歴史体験コンテンツ造成事業

真田邸をはじめとする松代の文化



松代真田家400年の歴史体験コンテンツ造成事業で活用される真田邸

財を活用したインバウンド客向けの高付加価値ガイドツアーの造成等に要する経費が追加されました。（一、〇五四万二千円）

学校給食提供安定化事業

物価高騰対策として、学校給食食



おいしい給食を楽しむ子どもたち

材費の価格高騰分を公費負担し、栄養バランス、質・量を保った学校給食の安定提供に要する経費が増額されました。（三、五四六万九千円）

部活動地域移行実証事業

民間事業者が所有する事業用車両を活用した移動手段の確保及び受け皿となるクラブチームの事務局代行サービスの実証事業に要する経費が増額されました。（三五八万六千円）

各災害復旧事業

本年8月に発生した大雨等により被災した農林業施設、道路施設及び河川施設の復旧に要する経費が増額されました。（一億三、七二〇万円）

ボブスレー・リユージュパーク不凍液処理事業

ボブスレー・リユージュパークのコース内に充填されている不凍液の廃棄処理に要する経費が追加されました。（二、三二一萬二千円）

主な議案の内容

長野市戸隠観光施設の管理に関する条例の一部改正

戸隠スキー場のスキーリフトの利用料金を見直すことに伴い改正されました。

長野市営運動場条例の一部改正

長野市営茶臼山スケートパークを設置することに伴い改正されました。

人事案に同意

人権擁護委員に小林昌樹氏（再任・大字南長野）、寺田公一氏（再任・大字柳原）、宮岡敏子氏（再任・合戦場二丁目）、中村和雄氏（新任・安茂里小市二丁目）、近藤正氏（新任・稲里町中水鉋）、降籟千理氏（再任・鬼無里）、小林美和子氏（新任・大字南長野）を推薦することに同意しました。

9月定例会 審議結果一覧

*賛否などの態度が分かれた議案等(■)については、議員別賛否一覧を御覧ください。
*議案名等の「長野市」「～について」等是一部省略して表記しています。

件名		議決の状況	件名		議決の状況
議案(32件) 市長提出議案等(60件)	第87号 令和6年度一般会計補正予算	可決 賛成多数	報告 報告月日 9月5日	第35号 地方独立行政法人長野市民病院の経営状況の報告	報告月日 9月13日
	第88号 令和6年度介護保険特別会計補正予算	可決 全員賛成		第36号 地方独立行政法人長野市民病院の令和5年度の業務実績に関する評価結果の報告	
	第89号 令和6年度水道事業会計補正予算	可決 全員賛成		第37号 一般財団法人ながのこども財団の経営状況の報告	
	第90号 令和6年度下水道事業会計補正予算	可決 全員賛成		第38号 公益財団法人ながの観光コンベンションビューローの経営状況の報告	
	第91号 日原財産区の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例	可決 全員賛成		第39号 株式会社エムウェブの経営状況の報告	
	第92号 印鑑条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第40号 一般財団法人長野市文化芸術振興財団の経営状況の報告	
	第93号 職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決 賛成多数		第41号 公益財団法人長野市スポーツ協会の経営状況の報告	
	第94号 福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	可決 賛成多数		第42号 健全化判断比率の報告	
	第95号 有償旅客運送自動車の設置等に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第43号 資金不足比率の報告	
	第96号 勤労青少年福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第44号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第97号 戸隠観光施設の管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第45号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第98号 市営住宅の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第46号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第99号 人権同和教育集会所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第47号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第100号 市営運動場条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第48号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第101号 公共下水道条例の一部を改正する条例	可決 全員賛成		第49号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第102号 日原財産区の財産の譲渡	可決 全員賛成		第50号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第103号 長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決 賛成多数		第51号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
	第104号 財産の取得(11t級除雪ドーザ)	可決 全員賛成		第52号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	
第105号 財産の取得(高規格救急自動車)	可決 全員賛成	第9号 決算特別委員会の設置並びに議案第113号、議案第114号 議案第115号、認定第1号及び認定第2号の付託	可決 全員賛成		
第106号 財産の取得(高度救命処置用資機材)	可決 全員賛成	第10号 福祉環境委員会閉会中継続調査申出	可決 全員賛成		
第107号 財産の取得(小型動力消防ポンプ付軽積載車)	可決 全員賛成	第11号 議会会議規則の一部を改正する規則(案)	可決 全員賛成		
第108号 財産の取得(高性能消防指令情報システム更新整備に係る機器)	可決 全員賛成	第12号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書(案)	可決 全員賛成		
第109号 市道路線の認定	可決 全員賛成	第13号 特別委員会の廃止	可決 全員賛成		
第110号 工事請負契約の締結(資源再生センター基幹整備工事)	可決 全員賛成	第14号 懲罰特別委員会の設置	可決 全員賛成		
第111号 工事請負契約の締結(長沼地区河川防災ステーション地盤改良工事)	可決 全員賛成	第15号 長野県広域連合議会議員選挙	当選 全員賛成		
第112号 電柱利用料に係る損害賠償額を定めること	可決 賛成多数	第16号 千曲衛生施設組合議会議員選挙	当選 全員賛成		
第113号 令和5年度産業団地事業会計未処分利益剰余金の処分	可決 全員賛成	第17号 須高行政事務組合議会議員選挙	当選 全員賛成		
第114号 令和5年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決 全員賛成	第18号 常任委員会・議会運営委員会閉会中継続調査申出	可決 全員賛成		
第115号 令和5年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	可決 全員賛成	第19号 副議長辞職	許可 全員賛成		
第116号 令和6年度一般会計補正予算	可決 全員賛成	第20号 副議長選挙	当選 ー		
第117号 国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決 賛成多数	第7号 「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める請願	不採択 賛成少数		
第118号 監査委員の選任	同意 賛成多数	第8号 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める請願	継続審査		
認定(2件) 第1号 令和5年度一般会計、各特別会計決算の認定 第2号 令和5年度各公営企業会計決算の認定	認定 賛成多数	第9号 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	不採択 賛成少数		
諮問(1件) 第2号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めること	同意 全員賛成	第10号 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願	不採択 賛成少数		
報告(25件)	第28号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)	報告月日 9月5日	第11号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願	不採択 賛成少数	
	第29号 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)		第12号 地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	不採択 賛成少数	
	第30号 専決処分の報告(交通事故による損害賠償額)		第13号 「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	採択 全員賛成	
	第31号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)		第4号 母(王彦彦)が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情書	報告月日 9月5日	
	第32号 専決処分の報告(道路管理上の事故による損害賠償額)		第5号 日常生活用具に関する陳情書		
	第33号 専決処分の報告(国補加茂小学校南校舎長寿命化改修建築工事変更請負契約の締結)		可決 賛成多数	市議会議員が侮辱を受けたことに対する処分の要求	否決 賛成少数
第34号 専決処分の報告(仮称)勤労者活躍支援センターB改修建築主体工事変更請負契約の締結)	可決 賛成多数				

■賛否などの態度が分かれた議案等(議員別賛否一覧)

※○=賛成、×=反対、除=除斥、退=退席、欠=欠席、議長は採決に加わらないため「/」と表示しています。
※所属会派は議決時点での会派で記載しています。

件名	議決の状況	新友会										共産党			公明党		改革ネット		次世代長野		無所属								
		寺沢さゆり	小泉崇正	西沢利也	北沢哲也	若林祥樹	手塚秀樹	宮崎和夫	松田光平	市川和彦	桜井敦篤	青木敏明	箱山英一	西脇かおる	本木晋	黒沢清一	滝沢真一	佐藤高希	松井英雄	堀内伸悟	清水美加子	浅川紀徹	鈴木洋一	原方ゆきこ	和田凌弥	内藤立人	倉野真一	山崎裕夫	山崎昭夫
市長提出議案等(議案32件中6件、認定2件中1件)																													
第87号 令和6年度一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第94号 福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第103号 長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第112号 電柱利用料に係る損害賠償額を定めること	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第117号 国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第118号 監査委員の選任	同意	○	除	/	○	除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号 令和5年度一般会計、各特別会計決算の認定																													
諮問(7件中5件)																													
第7号 「刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第9号 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第10号 「さらなる少人数学級推進と教員増のための教育予算確保」・「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願	不採択	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第11号 国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付奨学金制度の確立を求める請願	不採択	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第12号 地域高校の存続と30人規模学級を求める請願	不採択	×	×	/	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市議会議員が侮辱を受けたことに対する処分の要求	否決	×	×	/	×	×	×	除	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

質問の要旨

9月定例会本会議では二十七人の議員が質問に立ち、市当局と活発な論議を展開しました。その中から主な質問の要旨を紹介します。
なお、この文章は、基本的に質問議員自ら作成しており、行数は発言時間に比例しています。

個人質問

新友会 金沢 敦志

問 長野駅前再開発事業に若者の意見を取り入れるよう要望したが、それをどのように反映させるのか



ながの若者スクエア「ふらっと」で開催した若者との意見交換会

答 若者向けの雑貨・衣料品店、趣味や娯楽に関する施設、学習スペース等を求める意見をいただいた。設計やテナント検討の参考にしていきたい。

問 近年、カスタマーハラスメント、パワーハラスメントが社会問題になっている。本市職員への対応策は

答 これまで進めてきた対策を職員が活用できるように、職員に浸透を図る研修を適切に実施する。加えて、電話対応時に暴言を受ける場合があるため、通話を録音するなどの予防策も市民の理解を得ながら検討する。

問 物価上昇が続いているが、学校給食における食材費の現状と学校給食費への市の対応は

答 食材費の高騰分を国の交付金を活用し負担してきたが、必要な食材費の額について審議会に意見を求めたところ、一食当たり十四円不足との答申があり、10月から現在の負担額に十四円追加するための補正予算案を今定例会に提出した。これにより家計に新たな負担をかけることなく、子育て支援の推進に寄与したい。

公明党 堀内 伸悟

問 ヒアリングフレイル予防の観点から難聴の早期発見、早期介入が重要。自身の聴力を知るアプリやチェックリストの活用が有効と考えるが

答 セルフチェックと保健師等の受診勧奨が有効。今後、検討したい。

問 今後の若者支援では、気軽に相談でき、継続して寄り添い、サポートする相談体制の構築が必要では

答 今後、若者施策を反映させた長野市版こども計画の策定の中で、気軽に相談できる体制の構築を含め、若者施策の充実につなげたい。

共産党 佐藤 高志

問 B-1地区再開発で組合には具体的スケジュールの説明責任がある。いまだに行われていない理由は

答 所有者とテナントの意向が異なる、情報が十分伝えられないケースも。全ての地権者及びテナントとの面談を行っていく予定。地域に対しても進捗に応じて説明会を開催予定。

問 社会体育館の有料化について、

署名が提出されている。受け止めは

答 引き続き慎重に検討を進め、子どもから大人までスポーツを楽しめる環境の整備を進めていく。

問 りんごの栽培面積は令和3年に約千ヘクタールあったが、2年後にはその3分の1が消えている。農家への価格保障、所得補償をすべき

答 国の政策に関わる事項であり、国を挙げての議論が必要と考える。



りんごの収穫

問 10月頃からマイナ保険証利用登録の解除申請を受け付けることを、しっかり周知すべきと考えるが

答 事務の準備を進め、ホームページ



毎年開催している市職員対象の避難所開設・運営訓練

答 駆け込み施設は、指定緊急避難

問 自主避難所について、地域住民の意見を十分に踏まえ、安全性とリスクを確認し共有した上で、駆け込み施設として明確に位置付け、長野市の選定基準の中に、開設基準と運用引き等を策定すべきと考えるが

改革ネット 鈴木 洋一

答 利便性の低下につながらないよう、対策を行う必要があると考える。

問 マイナンバーカードを取得しないことにより、市民サービス上で不利益を被ってはならないのでは

シなどで周知を図っていく。

答 令和5年度決算ベースの試算で、

問 精神障害者の入院に対する福祉医療費の給付は、医療格差を是正するためにも必要と考えるが、適用していない理由や今後の市の方針は

新友会 桜井 篤

答 本年度は戸隠スキー場でのスキー活動を想定。これをきっかけに、郷土愛につながる活動を広げていく。

問 部活動の地域移行で地域特性を生かしたクラブを発足させることは地元を愛するきっかけになるのでは

答 学校は規模の大きな複合施設であり、複合的で多用途な活用を検討する必要がある。維持管理は人員不足が課題であり、引き続き適切な維持管理や有効活用を努める。

問 閉校や休校が増加している教育施設の有効活用と維持管理の考えは

次世代長野 和田 凌弥

場所のほかに、住民等が身の安全を確保するための施設として位置付けている。地域で自主避難所開設を検討する場合には、市として安全性確認やリスク共有を図るなど支援する。

答 他自治体の先行事例、当事者の意見等を参考にし、給付品目に加えるかどうか調査・研究を進める。体験会の開催は、今後市内で開催されるイベントの際に、市民に先端技術を体験してもらうスマートシティトライアル事業の一環として検討する。
※ロービジョン：何らかの原因により視覚に障害を受け、見えにくい、まぶしいなど、日常生活で不自由さを来している状態のこと。

新友会 青木 敏明

問 東日本台風災害から五年が経過し、長野市災害復興計画の最終年度となる。復興計画には、令和7年度

問 ロービジョンの方の希望をかなえるレーザー網膜投影技術を様々な分野での体験の機会に提供し、利用者の意見を聴きながら、日常生活用具の品目の対象とすべきと考えるが

公明党 松井 英雄

新たに約二億三千万円の財源が必要となり市単独での支出は厳しい。給付できるような県に対して入院に係る補助拡大を要望するほか、国に対しても県を通じ全国一律の福祉医療費助成制度の創設を要望していきたい。



生涯学習や地域交流の場として、また、地域の防災・災害支援活動の拠点として整備された豊野防災交流センター

答 河川などの安全性に対する不安を解消することが重要。地域住民の意見を聴きながら、国・県など関係機関と連携して着実に治水対策を進め、地域に希望をもち、この場所でも暮らし続けたいと感じてもらえるよう、まちづくりに取り組む。

以降も長期的視点で取り組むと示されているが、今後の基本方針は

問 被災地区移住補助金の申請が、豊野地区では二年間で九件となり、ようやくその成果が現れてきた。いまだ空き地が目立つ状況。ぜひ、中長期的視点で継続すべきと考えるが

答 公費解体後の空き地が多い状況。中長期的な視点に立ち、地域課題解消のため、具体的な方策を検討する。

無所属 山崎 昭夫

問 市の文化財や心のよりどころとなっている場所への違法行為対策は

答 建造物毀損等の違法行為は断じて許すことはできない。市の施設では定期的な見回りを行い、民間施設には防犯カメラ設置など所有者が行う防犯対策への補助等を行っている。

問 デジタルサイネージを設置したバス停を長野駅等に導入する考えは

答 長野駅の東西口に複数台設置する計画。交通情報や観光情報等、利用者には有用な情報源となるよう、関係部局と連携し、取り組みを進める。



須坂駅前バス停のデジタルサイネージ

新友会 松田 光平

問 5歳児健診とフLOORアップ体制の整備について、現在の状況は

答 実施には、小児科の発達専門医の確保、健診方法の検討、事後のフLOORアップ体制などが課題。6月に小児科医との意見交換を行い、部局横断的な視点から、庁内の子育て子育て関係部課長ミーティングの議題の一つとした。今後も最適な実施方法やフLOORアップ体制についてさらに研究を重ね、検討していく。

新友会 手塚 秀樹

問 松代真田家歴史体験コンテンツ造成事業の内容や期待される効果は

答 高付加価値のコンテンツをそろえたツアー造成で、インバウンドを含む観光客数の増加による経済波及や、文化財の魅力や価値のより深い理解による再来訪も期待する。将来的には、ツアー料金の一部を文化財保護のために活用することをめざす。

問 長野市発展のため、情報収集やスキルアップにも有意義な職員派遣に、積極的に取り組むべきでは



人材育成のための派遣研修として、総務省や経済産業省等の省庁へ市職員を派遣している

答 省庁や国の外郭団体に限らず、民間への派遣など、多くの職員に派遣研修の機会が与えられるよう、定年延長も十分考慮し、対応する。

公明党 清水美加子

問 県都長野市として、他の自治体に先駆けてトイレトレーラーを導入すべきでは

答 課題が多いため、すぐに導入を検討するには至っておらず、現在も他自治体の動向を注視している。

問 札幌市図書・情報館のように、働く人をターゲットにした貸さない図書館を整備すべきと考えるか



年齢層やテーマに応じた書架も配置している市立長野図書館

答 将来を見据えた本市の図書館のあり方について、引き続き検討する。

無所属 倉野 立人

問 長野市産業立地ビジョンの市民説明について、その現実性・実現性を踏まえ、どのように行うのか

答 候補エリアについて、事業推進の鍵となる地域住民に誤解が生じないように、住自協等に説明している。

問 川中島幹線北部延伸等に係る住自協の具体的な要望について部局横断的に情報共有し、今後の産業立地に生かしていく考えはあるか

答 地区から出された声は部局間で

情報共有し、将来のまちづくりにつながる協働の取り組みを進める。

新友会 西脇かおる

問 屋島橋から落合橋までの千曲川左岸堤防改修で、堤防表・裏のり面を貼り強い堤防とすることは、費用対効果も高く、重要な対策であると考えてる。また、流下能力を阻害する中州は掘削が必要であると考えてるが

答 国は、今回の堤防改修で堤防表・裏のり面をコンクリートで強化する予定はない。砂利採取は、流下能力の確保及び河道掘削事業の進捗にもつながるため、計画的な採取を進めている。屋島橋から落合橋までの堤防改修は、地域の治水安全度の向上を図るためには不可欠なことから、事業が早急かつ確実に進むよう、市も積極的に事業促進に協力し、国が行う各事業の整備促進を、市長が会長を務める同盟会とも連携して国へ強く要望していく。

次世代長野 内藤 武道

問 フードリボンプロジェクトは意義のある活動と考える。今後、取り組みを進めることはできないか

答 非常に有効な取り組み。市としてどのようなことができるか研究し、貧困対策への有効性を検討したい。

※フードリボンプロジェクト：飲食店の利用客が、子どもの食事・食分のリボンを任意で購入し、子どもはその店に掲示されたリボンを使って食事ができる仕組みを普及させる活動のこと。

問 内水ハザードマップの作成や周知活動についての考えは

答 令和8年度以降に作成する予定。広く市民に理解してもらええる周知の方法について検討を進めていく。

※内水ハザードマップ：浸水被害の最小化を目的として、一時的な大雨で下水道や水路などから水があふれる水害（内水氾濫）の浸水予測結果に基づいて、浸水の範囲とその深さ、避難に関する情報などを記載したものである。



このQRコードをスマートフォンで読み取ると、内水ハザードマップの詳しい説明がご覧いただけます。

改革ネット 原 よしひ

問 長野市社会福祉審議会の児童福祉専門分科会の委員に、障害児支援の代表者を加えることを提案するが

答 障害児支援に係る案件は、障害者福祉専門分科会で扱っている。今

後、審議案件に応じて臨時委員を委嘱することを協議、検討する。

問 長野駅前エスコートゾーンの定期的な点検と、バリアフリーに特化した予算の確保を求めるが

答 視覚障害者の意見を聴き、予防保全的な視点で予算措置を行い、歩行環境の確保に努める。

※エスコートゾーン：視覚障害者が、横断歩道から外れることなく道路を横断できるよう、横断歩道中央部に点状の突起を帯状に設置し、横断方向を誘導する設備のこと。

無所属 小泉 一真

問 市指定金融機関八十二銀行との宴會に市長が公費を支出してきた状況は。今後公費で飲食を楽しむか

答 令和4年、5年に一万円を支出。友好・信頼関係を維持増進する機会。

問 市長が公費で懇談会に参加する長野市議会経済懇話会とは新友会の主催。議会の一派主催のパーティーへの参加は軽率で、公費支出は不適切。政財官の癒着の場では

答 参集範囲は八十二銀行、市特別職、新友会議員。飲食を伴うが適切な意見交換、情報交換の場。

新友会 箱山 正一

問 令和7年度予算は市長の任期の総仕上げ。予算編成に向けた思いは

答 市長に就任して11月で任期四年目を迎えるが、何よりも暮らしの向上につながったと市民に変化を実感してもらえよう、全力で走り切る飛躍の一年にしたい。将来を見据えたビジョンやありたい姿を描きながら、市民の意見を聴き、職員による柔軟な発想や提案のもと、政策形成の企画段階からしっかりと議論を重ね、新たな取り組みに着手していく。この新たな一歩を踏み出すチャレンジこそが、私の使命であると考えている。これから進めていく7年度予算編成においては、変革と挑戦を念頭に置き、長野市の魅力を高め、市民にとって誇れるまちとなることをめざしていきたい。

公明党 浅川 徹

問 市が視覚障がい者等へ発出する文書に、どのような対応を取るのか

答 どのような通知文書や印刷物に音声コードを掲載することが効果的か、ニーズを把握し、音声コードを



音声コード（○部分）を掲載した長野市障害福祉サービスガイド

掲載した印刷物の拡充について検討していく。また、今年度、音声コード作成ソフトを導入し、障害福祉課で作成するチラシなどに掲載することから始め、庁内の他の部局にも音声コードを掲載した印刷物の作成について呼びかけていく。

共産党 野々村博美

問 市が農業協同組合協議会と市議会の一派である新友会とで農政懇談会を共同開催している。最大与党会派との癒着とも受け取れる。懇談会は中止すべき。市長の見解は

答 市政を運営する上で参考となり、予算の執行は適正。懇談会の開催は私が判断するものではない。

問 おでかけパスポートの負担増を求め前に、ぐるりん号のルートに市役所を入れる等見直し、利用者を増やす努力をすべき。乗っていない人へのアンケートは行っているのか

答 ぐるりん号利用者を中心にアンケートを行っている。現時点では現行ルートの希望者が多い。



中心市街地を循環する「ぐるりん号」

無所属 山崎 裕子

問 子どもの権利条例制定に向けて

準備が進められている。子どもが安心して相談できるよう、身近に子どもへの権利を擁護し、救済する仕組みが必要。相談機能を備えた子ども権利擁護委員設置についての考えは

答 子ども総合支援センター「あえっと」がワンストップで相談に応じ、子どもからの直接の相談にも子どもの思いを大切に、丁寧（ていねい）に声を聴き、子どもに寄り添った対応をしている。権利擁護、救済の仕組みは条例の具体的な検討過程において考えていく必要があると認識している。

新友会 和田 一成

問 賃上げ、人手不足に関する企業や事業所への具体的支援策の検討は

答 中小企業等の事業者等に常に寄り添い、その声に耳を傾け、柔軟な姿勢で新たな政策にも果敢に挑戦する。

問 住自協への即効性ある支援は

答 地域支援職員のモデル事業配置、集落支援員制度のモデル的導入検討、社労士による労務相談会を実施した。

問 支障木対策において、建設部をはじめ、関係部局の連携の必要性は



市道において、通行の支障となっている樹木の除去状況

答 庁内関係部局の連携をさらに密にし、有効な予防策も含めた実効性の高い支障木対策の実現に取り組む。

新友会 加藤 英夫

問 河川敷グラウンド等における仮設トイレの改善策は

答 利便性に配慮し、今年度から洋式トイレへの更新を進めている。

問 教育現場で生成AIがもつ可能性を最大限に引き出すため、早急に対応を進める必要があると考えるが

答 AIが必要不可欠な社会において、自ら学びを進め、未来を切り開



農家民泊の訪問先の畑で農作業を体験する中学生たち

いていく子どもたちの育成をめざす。

問 電気柵の維持管理の支障となっている木の枝払いについての考えは

答 地区有害鳥獣対策協議会等に対する支援策について検討する。

問 カラスによる果樹被害防止への積極的な取り組みが必要と考えるが

答 カラス檻おびによる捕獲を試行的に実施できるよう進めたい。

問 農家民泊事業の充実につながる支援を行う必要があると考えるが

答 補助金の交付要件などを検討するとともに、各地区の取り組み事例

を市内八つの団体で情報共有し、事業の充実につながるよう取り組み。

改革ネット 東方みゆき

問 市が関わる葬祭の動向、課題は

答 親族が不明、遺体の引き取り手がない人の葬祭は令和5年度に二十七件で増加傾向にある。遺骨や遺品の管理、死後事務などに課題がある。

問 市民の終活への考えや支援は

答 人生の最期を迎えるための準備や人生の総括をする終活は、誰にとっても必要で重要だと考える。終活の一部としてあらゆる世代に人生会議の普及を図り、意識を醸成したい。

※人生会議：アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning) の愛称で、もしものときに自分がどのような医療やケアを望むのかを前もって考え、家族や医療・介護従事者などと繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと。

共産党 黒沢 清一

問 市は自衛隊への適齢者名簿の提供を、そもそもやめるべきだが、除外申請ができる期間を長くしたり、広く周知徹底したりすべきでは

答 申請期間や周知の徹底について、

他の自治体の事例も参考に検討する。

問 信州新町産業廃棄物処理場計画に対し、地域に移住してきた若い世代を中心に反対署名に取り組んでいる。市は、その声に応えるべきでは

答 反対活動については、地域住民の意思として重く受け止めている。正式な手続きが始まった際には、関係法令の基準への適合性について慎重に審査していく。

公明党 藤澤 紀子

問 带状疱疹ワクチンについて、国の定期接種化に併せ50歳以上への助成、接種しやすい費用設定など早急に実施できる体制を整えるべきでは

答 国の定める定期接種の枠組みの中で実施する予定。国の審議会の動向を注視し、準備を進める。

問 障害福祉課の窓口を、障がい者に寄り添った窓口へ改革すべきでは

答 番号札の配付やしっかりした仕切りパネルの導入などを検討する。

新友会 小泉 栄正

問 中山間地域に対する市の基本的

な方針を、本市の基本構想として定めることが必要であり、具体的な施策の展開に不可欠と考えるが

答 今後の中山間地域の基本方針や施策については、どのようなかたちで計画に位置付けることが具体的な施策を展開する上で最適なか、基本構想や個別計画のあり方及び方向性を十分に検討した上で考えていく。

問 中山間地域の集落の維持には長期的な視点で持続可能な地域づくりを進める必要がある。先を見据えた今なすべき施策を樹立すべきでは

答 令和7年度以降、集落支援員制度の導入を検討。中長期的視点で取り組む施策は次期総合計画策定と併せ、関係部局と連携して検討する。

市議会本会議は、市ホームページの「長野市議会」の議会中継をご覧ください。



また、本会議及び各委員会の詳細については、ホームページの会議録検索をご覧ください。

(注) 9月定例会の本会議及び各委員会の会議録検索へのアップは、12月上旬以降順次行う予定です。

審議結果については、3頁の審議結果一覧を併せて参照ください。

常任委員会のうごき

建設企業委員会

●ながのこども館「ながノビ」では、この8月に、ながのこども館管理運営検討委員会を設置し、より一層のサービスの充実に努めているとのこと。「ながノビ」での遊びの体験が、子どもたちの成長に資するよう、施設運営について議論を重ね、引き続き、子どもの成長に合わせたよりよい場の提供に努めていくよう要望した。

●長野駅前B-1地区市街地再開発事業については、長野市の顔となる長野駅前から、新たなにぎわいを創出していくためにも、これから担う若者にとって、ここ長野市で暮らしたい、住み続けたいと感じてもら



「ながノビ」で楽しそうに遊ぶ子どもたち

総務委員会

えるような魅力ある施設とすることに加え、この再開発事業によってその周辺などへも、広くにぎわいを波及させていくような事業にしていくなことが重要である。については、引き続き、若者をはじめ市民の意見を反映させながら、事業を進めていくよう要望した。

●火事をなくする市民運動については、開始から五十年が経過する中で、火災の件数は減少傾向で推移しているものの、高齢世帯や単身世帯の増加といった社会情勢の変化に加え、様々な電気機器等が普及するなど市民の生活様式は大きく変化してきており、火災の要因は多様化している。また、高齢化の進展等に伴い、転倒やヒートショックなど家庭内における危険は火災にとどまらない状況となっている。そのため、時代の変化に対応した方法での新たな運動の実施が求められることから、消防局、消防団、住民自治協議会、インフラ事業者が連携した啓発活動、地域の防災訓練の場を活用した広報の実施など、今の時代に合った暮らしの安全を守る運動へ発展させていくよう要望した。

福祉環境委員会

●請願第七号については、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

●資源再生センターの工事請負契約に関連して、近年、正しく分別されずに混入したりリチウムイオン電池等を原因とする火災が発生していることから、ごみの分別方法について、改めて市民に対し、様々な媒体を通じて、周知徹底するよう要望した。

●市内で発生した介護施設の福祉車両の火災について、今後、車両火災が発生した際の初動対応や不測の事態が発生した際の対応等については、一義的には事業者の責務となるが、市としても事業者に対し、しっかりと研修を行っていくよう要望した。

●今年度、本格的に開始した子ども体験・学び応援事業、また、試行的に取り組んでいる放課後子ども総合プラン事業における昼食提供及びこども誰でも通園制度については、市民や関係者から好意的に受け入れられているため、今後も積極的に推進するよう要望した。

●請願第八号は、賛成多数で継続調査とすべきものと決定した。
●請願第九号は、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。

経済文教委員会

●市では社会体育館への時代のニーズや施設の老朽化を鑑み、その適切な維持・管理のため、有料化に向けて調査・研究を進めている。利用者の負担をより軽減するためには何を優先させるのかを総合的に判断するとともに、利用者の関心が高いことから、使用料について明確な算出根拠を示すことを要望した。

●現在、長野市産業立地ビジョンの策定が進められており、新たな産業団地開発の候補地として八エリアを選出しているが、その中には農業振興地域内の優良農地が多く含まれていることから、今後の本市の農業振興に大きな影響を及ぼすことが懸念される。近年の高齢化により農業の担い手が少なくなっている現状ではあるが、農業委員や地元農業者等の意見を聞くなど、これまで以上に関係部局が連携を図り、それぞれの産業にとってプラスになる取り組みを進めるよう要望した。

●請願第十号、第十一号、第十二号は、賛成少数で不採択とすべきものと決定した。
●請願第十三号は、全員賛成で採択とすべきものと決定した。

特別委員会のうごき

水道事業広域化調査研究 特別委員会

9月定例会では、この一年間に委員会を出された意見等を集約し、次のように要望した。

●先進自治体の取り組みを参考にしながら、業務運営や施設整備など上田長野地域に最も適した水道事業広域化の検討を進めること。

●上田長野地域水道事業広域化協議会では、水道事業広域化の基本的な方針、事項をまとめた基本計画の策定等が予定されていることから、市民及び企業等が水道事業に一層理解を深められるような取り組みやSNSを活用した広報活動を行うこと。

●水道事業広域化の基本計画の策定を踏まえ、災害に強い水道ネットワークの構築や危機管理体制の重要性を十分検討すること。

●私たちの生活、産業に欠かせない安全で良質な水道水を、未来の世代へ確実に引き継いでいけるよう、市民の声を十分に聴き、水道事業広域化の検討、協議を進めること。

子育て支援調査研究 特別委員会

9月定例会では、この一年間に調査、研究した中では出された意見等を集約し、次のように要望した。

●不登校児童・生徒への支援について、教育支援センターの充実を図るとともに、子どもが様々な選択ができる、多様な学びの場を確保すること。また、保護者への支援として、同じ境遇にある者同士のつながりを生み出し、保護者が抱える様々な悩みや不安を和らげる環境や仕組みをつくること。

●子どもの居場所づくりに係る支援について、民間団体に対し、事業費等の補助などと併せて、民間団体が長期の計画性をもって事業を運営できるよう、企業や支援団体、地域住民との連携を強化し、持続可能な支援体制を構築していくこと。

●子どもの権利を守る上で、全ての子どもの主体性を尊重し、子どもの声を聴き、子どもの意見を反映させる施策づくりを進めること。

中山間地域活性化調査 研究特別委員会

9月定例会では、この一年間に委員会では調査、研究した中で集落支援員の導入が必要と判断し、導入にあたり整理した課題と、課題解決に向けた取り組み及び方向性について、次のように集約し、要望した。

●業務内容の明確化について、地域の実情に合ったミッションを明確に

するために、地域住民の声を丁寧^{ていねい}に聴き、地域ごとのミッションを設定する必要があること。

●既存の人的支援策の整理について、これらと集落支援員の業務とを整理すること。

●集落支援員の雇用主について、市で雇用して支所長の指揮命令のもとに活動し、その上で住民自治協議会等と十分に連携を図ること。

●人材の選定について、行政と住民の双方の立場を理解でき、企画調整能力、経験があり、業務に意欲的な者の中から、ミッションに応じた人材の確保をめざすこと。

公共交通対策調査研究 特別委員会

9月定例会では、一年間の調査・研究の中で出された意見等を集約し、次の三点について要望した。

●深刻な運転手不足や利用者減少等のため、路線バスの減便や運休はやむを得ないが、通院や通学で利用する市民が困ることのないように、事業者と慎重な協議の上、減便の時間帯や路線を設定すること。

●タクシー事業者に通道の配車アプリを導入してもらい、タクシー事業者全体での配車効率があがるように支援すること。また、配車アプリのデータを収集、分析し、タクシーが不足している場合には、ライドシェアの導入も視野に入れた検討をしていくこと。

●来年3月からSuica機能を備えた新しいKURURUの運用が始まるが、現在のカードからの切り替えが必要になることから、移行に当たり混乱がないよう、手続きの内容など丁寧な広報を行うこと。

長野市議会議員政治 倫理審査会の設置 について

本審査会は、本市の市議会議員が行った政務活動費の支出に係る行為が、長野市議会議員の政治倫理に関する条例で定める「議員が遵守すべき行為規範」に反する疑いがあるとして、同条例の規定に基づく審査請求があったことを受け、これを審査するため、本年8月19日に設置されました。

これまでに、審査請求者からは請求に至った理由などを、また、審査対象の議員からは弁明などを、それぞれ聴取するとともに、適切な判断を行うためにどのように審査を進めるべきか、必要な情報も集めながら慎重に協議を重ねています。

新しい議会構成

議長 西沢 利一 副議長 松井 英雄

市議会には常任委員会と特別委員会が置かれています。
9月定例会では副議長と各委員会の委員が新たに選任され、議会の構成も変わりました。
正副議長と委員を、各委員会の所管事項とともに紹介します。

常任委員会

※◎=委員長、○=副委員長



総務委員会
総務部、企画政策部、財政部、地域・市民生活部、会計局、消防局、議会事務局、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員に関する事。他の常任委員会の所管に属しないこと。

後列 市川 和彦 小泉 一真
和田 凌弥 ○箱山 正一
清水美加子 ◎若林 祥
手塚 秀樹 阿出川 希
松田 光平



福祉環境委員会
保健福祉部、こども未来部、環境部に関する事。

後列 松井 英雄 本木 晋
内藤 武道 ○和田 一成
野々村博美 ◎寺沢さゆり
鈴木 洋一 浅川 徹
小泉 栄正



経済文教委員会
経済産業振興部、観光文化部、スポーツ部、農林部、教育委員会、農業委員会に関する事。

後列 北沢 哲也 加藤 英夫
佐藤 高志 ○堀内 伸悟
山崎 裕子 ◎黒沢 清一
桜井 篤 原 ようこ
宮崎 治夫



建設企業委員会
建設部、都市整備部、上下水道局に関する事。

後列 東方みゆき 西沢 利一
山崎 昭夫 ○青木 敏明
西脇かおる ◎金沢 敦志
倉野 立人 滝沢 真一
藤澤 紀子

議会運営委員会

議会運営、会議規則、委員会条例等、議長の諮問に関する事。

◎宮崎 治夫 ○鈴木 洋一 堀内 伸悟
野々村博美 和田 凌弥 和田 一成
手塚 秀樹 若林 祥 寺沢さゆり

特別委員会

中山間地域活性化調査研究特別委員会

過疎や高齢化で悩む中山間地域の現状をしっかりと捉え、移住・定住も含め、活性化に向けた施策について、調査・研究を行う。

◎松田 光平 ○東方みゆき 黒沢 清一
倉野 立人 内藤 武道 浅川 徹
本木 晋 和田 一成 小泉 栄正

公共交通対策調査研究特別委員会

交通空白地域の解消をめざし、オンデマンド交通の検証・拡大、市街地周辺での移動手段の確保などについて、調査・研究を行う。

◎滝沢 真一 ○西脇かおる 佐藤 高志
青木 敏明 清水美加子 手塚 秀樹
山崎 裕子 原 ようこ 若林 祥

水道事業広域化調査研究特別委員会

県及び3市1町で検討している上田長野地域水道事業広域化について、調査・研究を行う。

◎市川 和彦 ○桜井 篤 鈴木 洋一
小泉 一真 箱山 正一 宮崎 治夫
堀内 伸悟 阿出川 希 野々村博美

広報広聴委員会

議会の広報及び広聴に関する事項について協議又は調整を行う。

◎金沢 敦志 ○加藤 英夫 藤澤 紀子
阿出川 希 原 ようこ 和田 凌弥
寺沢さゆり 山崎 昭夫 北沢 哲也

※◎=委員長、○=副委員長。他の委員の記載順は、座席番号の順による。

編集委員

委員長 加藤 英夫
副委員長 滝沢 真一
清水美加子
内藤 武道
山崎 裕子
本木 晋
西脇かおる
原 ようこ

現編集委員会が立ち上がり、早くも一年が過ぎました。委員会では、市民が手に取りやすく、かつ読みやすい紙面をめざして、編集方針の変更などに取り組んでまいりました。10月から「広報広聴委員会」が発足し、今後はここで市議会だよりの編集を行います。体制は変わりますが、引き続き読みやすい紙面づくりに努め、市議会の情報をより詳しく、より正確にお伝えしてまいります。

編集後記

●日程案は変更となる場合があります。
●「請願」「陳情」を希望する人は開会日までに提出してください。
●傍聴は開催当日、次のところまで受け付けます。
・本会議：第一庁舎8階（傍聴席入口）
・委員会：第一庁舎7階（議会事務局）
●乳幼児一時預かりサービスは、利用を希望する対象保育所等へ直接お申し込みください。手話通訳及び要約筆記サービスは、傍聴希望日の3日前までに議会事務局へお申し込みください。（いずれも無料）

12月市議会定例会 会議予定

11月28日(木) 本会議(会期の決定/議案上程)
29日(金) 12月3日(火) 休会
12月4日(水) 本会議(一般質問(代表))
5日(木) 本会議(一般質問(個人))
6日(金) 本会議(一般質問(個人))
7日(土) 8日(日) 休会
9日(月) 本会議(一般質問(個人)/議案質疑等)
10日(火) 委員会(福祉環境・建設企業)
11日(水) 委員会(総務・経済文教)
12日(木) 15日(日) 休会
16日(月) 本会議(採決)



長野市議会

長野市議会ホームページ
https://www.city.nagano.nagano.jp/shigikai/index.html
E-mail: gikai@city.nagano.lg.jp

検索

長野市議会事務局

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地
TEL: 224-5057 FAX: 224-5105